

## 付属品

箱の中には下記の付属品が入っていますのでお確かめください。

- 保証書
- 専用接続コード
- サービス店名簿
- 取付ネジ
- 取扱説明書（本書）

## 保証書とアフターサービス

### 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入〈販売店印〉〈お買い上げ日〉および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

- 調子が悪いときはまずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は

⇒ 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。  
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

⇒ 修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。

- 当社はカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店もしくは添付サービス店名簿に記載されている最寄りのお店にお申しつけください。

# MITSUBISHI

## MD/CDセンターユニット

型名

## MC-H730

### 取扱説明書



- お買い上げいただきありがとうございます。  
この製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくため、ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。  
お読みになったあとは大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときもう一度ご覧ください。きっとお役にたちます。
- ご使用になる前にまず「安全上のご注意とお願い」をよくお読みください。

### ご使用前に

- 安全上のご注意とお願い…………… 2
- 使用上のご注意…………… 4

### 操作方法

- 共通部の操作のしかた…………… 8
- ラジオ部の操作のしかた…………… 10
- MD/CDの操作のしかた…………… 12
- チェンジャーコントロールの操作のしかた… 18
- ETC車載器接続時の操作のしかた……20

### 接続／取り付け

- 接続のしかた……………22
- 取り付けかた……………23

### その他

- 故障かな？と思ったら…………… 25
- 主な仕様…………… 27
- 付属品……………28
- 保証書とアフターサービス……………28

## 安全上のご注意とお願い

- ここに示しました注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。  
また、注意事項は「警告」と「注意」の2つに区分しておりますが、それぞれの意味を下に示します。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 <b>注意</b> この表示記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを表わしています。	 <b>禁止 分解禁止</b> この表示記号は行為を禁止する内容を表わしています。	 <b>実行</b> この表示記号は行為を強制したり指示する内容を表わしています。
---	--	--

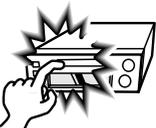
## 警告

 <b>注意</b>	<b>落雷に注意する</b> 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やオーディオなどに触れないでください。落雷による感電の危険性があります。	
 <b>禁止</b>	<b>タコ足配線をしない</b> 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。電源コードの電流容量がオーバーし、火災の原因となります。	
 <b>禁止</b>	<b>挿入口に異物を入れない</b> ディスク挿入口に異物を入れないでください。火災の原因となります。	
 <b>禁止</b>	<b>故障状態で使用しない</b> 音が出ない、表示が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。	

## 警告

 <b>禁止</b>	<b>異常が起きたら使用しない</b> 万一、異物が入った・水がかかった・煙がでる・変な匂いがするなどの異常がございましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店またはサービス店名簿に記載されている最寄りのお店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。	
 <b>分解禁止</b>	<b>分解、改造をしない</b> <本機>を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。	
 <b>実行</b>	<b>指定以外のヒューズを使用しない</b> ヒューズを交換するときは、必ず指定のヒューズをご使用ください。指定以外のヒューズを使用すると、事故や火災の原因となります。	

## 注意

 <b>注意</b>	<b>安全な音量で使用してください</b> 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。	
 <b>注意</b>	<b>手や指のはさみ込みに注意してください</b> <ディスク挿入口>に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。	
 <b>禁止</b>	<b>車載用として以外は使用しないでください</b> 感電やけがの原因となることがあります。	

# 使用上のご注意

## 取り付けに関して

- 本機はDC12Vマイナスアース車用です。
- 取り付けに際しては、取付要領書の「安全上のご注意とお願い」及び「取り付けかた」をよくお読みのうえ作業してください。
- ご自分での取り付けが困難な場合は、販売店またはカーディーラーにご相談ください。

## 本体のお手入れ

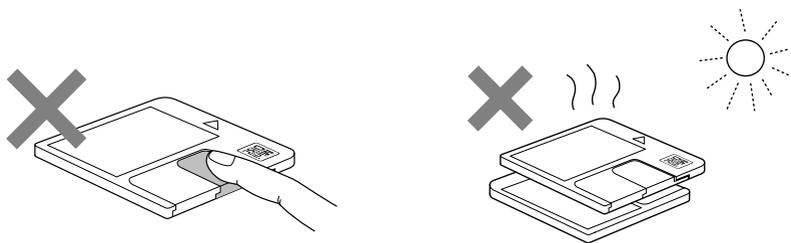
- やわらかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固くしぼってからご使用ください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

## パワーアンテナに関して

- 本機のパワーアンテナ出力は安全上の理由から、いったんラジオを聞くと、MDやCDモードに切り換えても出力されたままとなります。したがってモーターアンテナ付車などで車庫に入る時などは電源スイッチをオフにしてアンテナを収納してください。

## MD（ミニディスク）の取り扱いについて

- ミニディスク自体はカートリッジに収納されており、ゴミ等を気にせず手軽に取り扱えるようになっていますが、カートリッジの汚れやそり等により誤動作の原因となることがあります。  
美しい音楽を楽しむよう次のことにご注意ください。
- ◆シャッターを手であけないでください。
- ◆真夏の炎天下に閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



- 本機は音楽MDの再生専用です。データMDは使用できません。
- 文字情報について
  - 本機で表示できる文字はアルファベット、数字、カタカナで記録されているものに限りです。

## 規格外ディスクについて

- 市販の音楽CDは  ロゴの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。  
規格外のCDを使用された場合には再生や音質の保証は致しかねます。  
規格外のCDを再生した場合、下記の症状が発生することがあります。
  - (1) 再生時に雑音が混入する。また場合により音飛びする。
  - (2) ディスクを認識せずエラーになる。
  - (3) 1曲目を再生しない。
  - (4) 頭出しに通常より時間がかかる。
  - (5) 曲の途中から再生する。
  - (6) 部分的に再生出来ない箇所がある。
  - (7) 再生途中で操作できなくなる。
  - (8) 誤表示する。

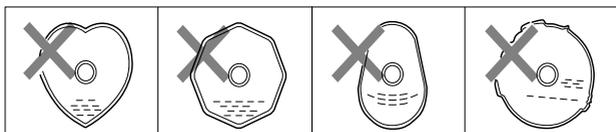
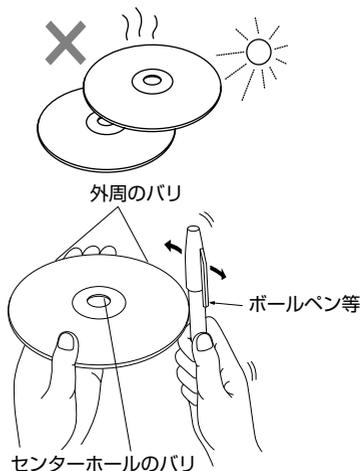
## CD（ディスク）のお手入れ

- 演奏する前に、ホコリやゴミ、指紋など市販のクリーニングクロスでよくふきとってください。  
ディスクは内側から外側へ向かってふいてください。
- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。また、静電防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ピックアップ清掃用のレンズクリーナーは機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

# 使用上のご注意

## CD（ディスク）の取り扱いについて

- 虹色に光っている面（印刷のない面）が記録面です。記録面に触れないように持ってください。またディスクには紙などを貼らないでください。
- 真夏の炎天下に閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。
- 新しいディスクを使用するときは、ディスクのセンターホールや外周部にバリが残っていないことを確認してください。バリが残っている場合には、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。バリが残っていると、ディスクが挿入できなかったり音とびの原因となります。
- ディスクレーベル面に  のマークが入ったものなどJIS規格に合致したものをご使用ください。
- ハート型や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



- New MaxiシングルCD（12cmの大きさで外周に透明な部分があるシングルCD）は、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

## CD-R/CD-RWについて

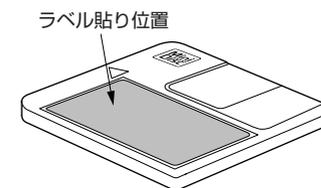
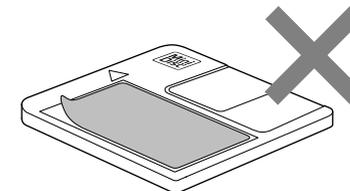
- CD-R/CD-RWのレーベル面や記録面にシール・シート・テープなどを貼らないでください。
- CD-R/CD-RWは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱く、一部のディスクは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷が付くと再生できない場合があります。一部のCD-R/CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
- CDレコーダーで記録したCD-R/CD-RWは、その特性・傷・汚れなどにより再生できない場合があります。
- ご使用になるCD-R/CD-RWは、ファイナライズ処理されたものに限りです。

## こんなディスク／カセットの使用はおやめください

- 次のようなディスクを使うと、本体内部にディスクが貼り付いて**本体自体の故障の原因**となったり、お客様の**大切なディスクにもダメージを与える**ことがあります。

### MDの場合

- ラベルのはがれに注意してください。ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。故障の原因となります。
- ラベルを貼り付ける時は所定の位置に正しく貼り付けてください。ラベルの重ね貼りは行わないでください。



### CDの場合

- CDに付着物が付いているものや、シールをはがしたあとにのりが付着しているCDはラベル面をきれいに拭き取ってからご使用ください。
- レンタルCDなどでシールがめくれているCDは使用しないでください。
- お手持ちのCDに飾り用のラベルやシールを貼ったもの、またはラベルのはがれかかったCDは使用しないでください。故障の原因となります。



## 共通部の操作のしかた

- ボタン操作には「短押しと長押し」で2とおりの働きをするボタンがあります。長押しの際は操作音が「ピピッ」と2回続けて鳴るまでボタンを押し続けてください。



## ● パワー（電源）オン／オフとソース切換え

≫ “パワー（電源）スイッチ” を押す。

押すと電源がオンになり、元に聞いていた状態を再生します。電源オフ状態で、MD、CDを挿入すると電源がオンになります。再生中に電源を切るにはもう一度押します。

- “ソース切換えボタン” を押すことでも電源がオンになります。“ソース切換えボタン” を押すごとに再生ソースが選択できます。



## ● 交通情報を聞く

≫ “交通情報ボタン” を押す。

交通情報（AM1620kHz、1629kHz）が受信できます。電波が弱く受信できなくなると自動的にもとの状態に戻ります。（パワーオフ時でも使用できます。）

## ● 外部入力モードへの切換えかた

- “ソース切換えボタン” を長押し（この時の操作音は1回です）すると外部入力モード（AUX MODE）に切り換えることができます。（外部入力を使用する場合は別売のアダプターが必要です）

## ● 音量／音質の調整をする

音質調整選択ボタンを押すごとに音量／音質調整モードが次のように切り換わります。調整したいモードを選んで“ボリュームつまみ”で調整してください。

音量／音質調整モード	左へ回すと	右へ回すと
VOL（音量）	最小 00	49 最大
BASS（低音）	-6 ~ 0 ~ +6	
TREB（高音）	減少	センター 増大
FADE（フェーダー）	F↑6 ~ 0 ~ R↓6 フロント側に移動      センター      リア側に移動	
BAL（バランス）	L←6 ~ 0 ~ R→6 左側に移動      センター      右側に移動	

押すごとに切り換わる

- 音量／音質調整モードで7秒間何も操作しない時は、元のモードに戻ります。

## ■ ラウドネス

≫ “音質調整選択ボタン” を長押しする。

LOUDネス機能がオンになります。もう一度押すと解除します。LOUDネスオン時は表示部に“LOUD”が点灯し、小さな音量で聞いているときの低音域及び高音域の不足感が補正され、メリハリのある音質が楽しめます。

## ● 時計を表示する

≫ 再生状態で“ディスプレイ(DISP)ボタン”を押す。

時計表示に切り換わります。CD/MD時は表示モードにより何回か押す必要があります。  
 ・ 時計表示は12時間表示です。  
 ・ 午前、午後の表示はありません。

## ● 時計を合わせる

1 パワーオフ状態で“時計表示切換えボタン”を「ピピッ」と2回鳴るまで長押しする。

時計表示が点滅します。

2 “時調整ボタン”で時の桁、“分調整ボタン”で分の桁を調整する。

3 “時計表示切換えボタン”を押す。

カウントが始まります。

# ラジオ部の操作のしかた



## 表示の見方

ステレオインジケータ  
(FMステレオ放送時点灯します)



## ラジオを聞くには

1 “ソース切換えボタン” を押してラジオモードをする。

“ソース切換えボタン” は押すごとに下記のように再生モードが選択できます。



2 “バンド切換えボタン” で聞きたいバンドを選択する。

“バンド切換えボタン” は押すごとに下記のように再生バンドが選択できます。



## ● マニュアル／シーク選局する

≫ “チューニングボタン” で聞きたい放送局に合わせる。

“チューニングボタン▶▶”：高い方へ受信周波数が変わります。

“チューニングボタン◀◀”：低い方へ受信周波数が変わります。

“チューニングボタン” を長押しするとシーク選局となり、自動的に放送局を受信すると停止します。

※AM選局時は車両のイルミネーション(ILL)スイッチに連動して自動的にストップ感度を下げて主に強い電波の放送局のみを受信するように動作します。

## ● スキャン選局する

≫ “スキャンボタン” を押す。

“プリセットボタン” にメモリーされている放送局を順次5秒間ずつ受信します。(スキャン中はLCD表示部に“SCAN” が点灯します。)

希望局を受信中に再度“スキャンボタン”を押すとその放送局の受信状態になります。

## ● メモリーのしかた

### ● プリセットメモリー

希望の放送局を受信中に任意の“プリセットボタン”を長押しすることでプリセットメモリーができます。「ピピッ」という操作音がしたらメモリー完了です。また、“プリセットボタン”を短押しすることで予めメモリーされている周波数を呼び出すことができます。プリセットメモリーは各バンドごとに6局ずつメモリーできます。

### ● オートメモリー

“スキャンボタン”を長押しすると、自動的に電波の強い放送局から順番にプリセットメモリーに最大6局までメモリーされます。この時、元のメモリーされていた周波数は書き換わってしまいますのでご注意ください。オートメモリー動作終了後はプリセットボタン1にメモリーされた放送局の受信状態になります。

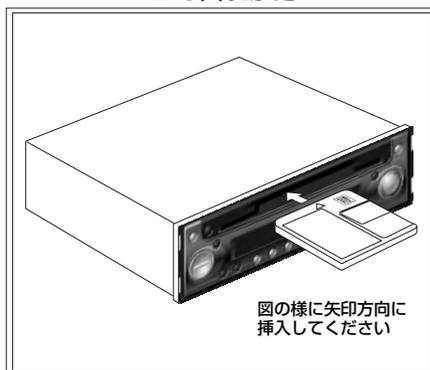


オートメモリー動作中の表示を示しています。

# MD/CDの操作のしかた

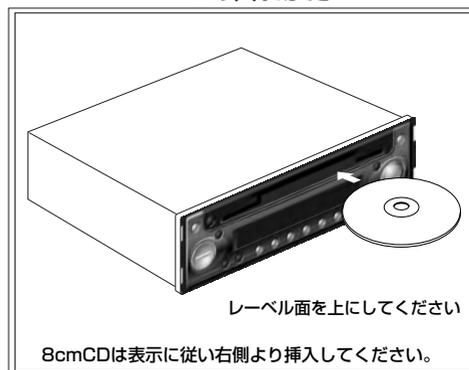


MDの入れかた



図の様に矢印方向に挿入してください

CDの入れかた



8cmCDは表示に従い右側より挿入してください。

- MDを挿入する時はCDイジェクト（取り出し）後に行ってください。CD挿入時も同様にMDイジェクト後に行ってください。
- MDとCDを同時に挿入しないでください。DISCをキズつける恐れがあり、故障の原因となります。

## ● MD/CDを聞くには

≫ MDまたはCDを挿入すると自動的に再生状態になる。

ディスクがセット内に装着されている場合は“ソース切換えボタン”でMDまたはCDモードを選択します。

セット内にディスクが装着されていない場合はLCD表示部に“NO DISC”が表示されます。

≫ MDまたはCDを取り出す時は“イジェクトボタン”を押す。

再生中にイジェクトするとラジオモードに切り換わります。

≫ “トラック選択ボタン▶▶”または◀◀を短押しするとそれぞれ「トラック送り／戻し」ができる。

▶▶または◀◀を押し続けると押ししている間曲の「早送り／早戻し」状態になります。

## ● リピートやランダムプレイをするには

≫ MDまたはCD再生中“リピートボタン”を押す。

リピート(RPT)プレイとなり、現在再生している曲(トラック)を繰り返し再生します。

≫ MDまたはCD再生中に“ランダムボタン”を押す。

ランダム(RDM)プレイとなり、全ディスク内の曲(トラック)をランダムに選び出し再生します。

ランダムは無作為に曲(トラック)を選択していきませんが、同じ曲(トラック)を続けて再生することもあります。

## ● スキャン選曲するには

≫ “スキャン(SCAN)ボタン” を押す。

現在再生している曲(トラック)の次の曲(トラック)から、順次「曲(トラック)の始めの10秒間」ずつ再生します。聞きたい曲(トラック)の再生中に再度“スキャン(SCAN)ボタン”を押すと通常の再生状態になります。

またスキャンはディスク内のすべての曲(トラック)を一巡するとスキャンは解除し通常再生状態に戻ります。スキャン機能は再生しているディスクのみをスキャンします。ディスク間のスキャンはありません。

**表示の見方**

リピーモード時点灯します  
ランダムモード時点灯します  
ランダムモード時点灯します

TRACK RPT RDM SCAN DISC IN

MD LP2 08 12' 34 DISC IN

MD録音モード表示  
LP2: 2倍長録音トラック再生時  
LP4: 4倍長録音トラック再生時  
消灯: 標準モード録音トラック再生時

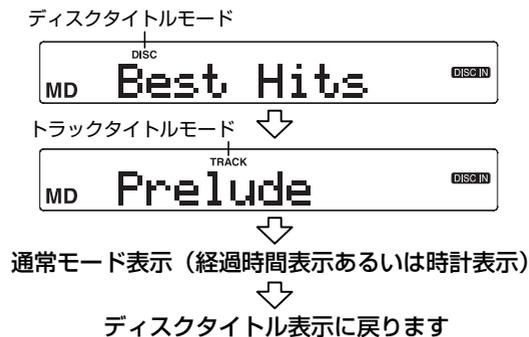
トラックナンバー  
経過時間表示  
ディスクインジケータ  
(ディスクが入っている時点灯します。)

- MDの文字情報やCDテキスト(CD-TEXT)が表示できます。表示可能な文字種はアルファベット、数字、カタカナです。

## ● MDのタイトル表示切り換え

≫ MD再生中 “ディスプレイ(DISPLAY)ボタン” を押す。

次のように表示が切り換わります。

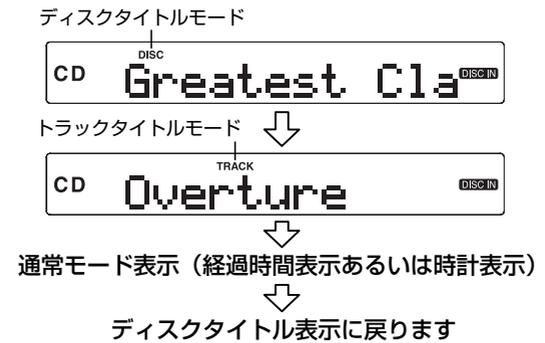


- 文字情報の記録されていないMDを再生した場合はLCD表示部に“NO TITLE”と表示されます。
- 一度に表示できる文字数は12文字です。文字数が多い場合は自動的に左方向へ文字がスクロールし、先頭から12文字の表示になります。
- “スクロールボタン(SCRL)”を押すとスクロール表示ができます。ただし、文字数が12文字以下のときはスクロールしません。

## ● CDテキスト表示切り換え

≫ CD再生中 “ディスプレイ(DISPLAY)ボタン” を押す。

次のように表示が切り換わります。



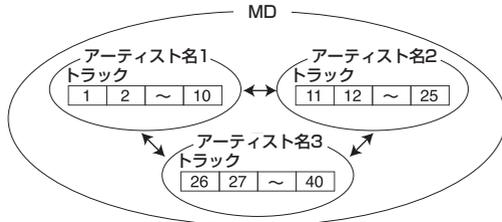
- CDテキストの記録されていないCDを再生した場合はLCD表示部に“NO TITLE”と表示されます。
- 一度に表示できる文字数は12文字です。文字数が多い場合は自動的に左方向へ文字がスクロールし、先頭から12文字の表示になります。
- “スクロールボタン(SCRL)”を押すとスクロール表示ができます。ただし、文字数が12文字以下のときはスクロールしません。

※別売の10連奏CDチェンジャー (CD-5852C) はCDテキスト表示には対応していません。

MDやCDのタイトル表示操作は安全運転の妨げになりますので、安全を十分に確認したうえで操作を行ってください。

## ● グループ管理されたMDを聞くには

- 本機はグループ管理されているMDを再生できます。  
MDLPモードで録音して曲数が増えてしまった場合に、アーティストやジャンルごとにグループ分けすることで選曲が簡単になります。  
例えば、アーティスト名でグループ分けしたMDの場合（MD内に3グループ、40曲ある場合）



- アーティスト名ごとに選択ができるので曲選びに便利です。

### ●グループ選択

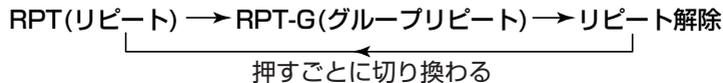
“グループ選択ボタン”でグループの選択ができます。“-”側を押すと、今再生しているグループの前のグループを、“+”側を押すと、今再生しているグループの次のグループを選択できます。  
ディスク内にグループが1つしかない場合はこれらのボタン操作は受け付けません。

### ●グループスキャン選曲

“グループスキャンボタン”を押すと、全グループの一曲目の最初の10秒間を順次再生します。  
聞きたい曲の再生中に再度“グループスキャンボタン”を押すか全グループを一巡するとグループスキャンは解除し、通常の再生状態に戻ります。

### ●グループリピート再生

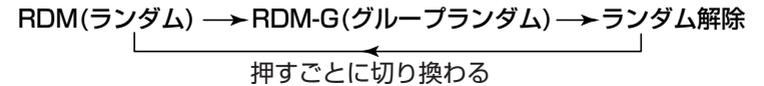
“リピートボタン”を押すごとに次のようにプレイモードが切り換わり、グループリピート再生を選択できます。



グループリピート再生では現在聞いているグループ内の全曲を繰り返し再生します。

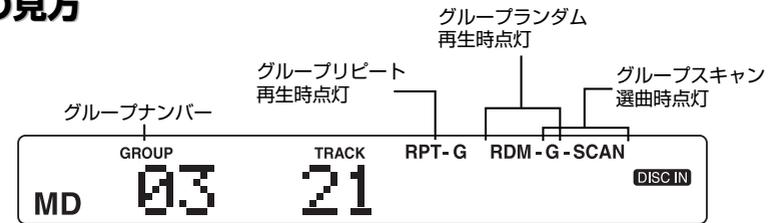
### ●グループランダム再生

“ランダムボタン”を押すごとに次のようにプレイモードが切り換わり、グループランダム再生を選択できます。



グループランダム再生では現在聞いているグループ内の曲を順不同（ランダム）に選び出して再生します。ランダムは無作為に曲を選択していきませんが同じ曲を続けて再生することもあります。

## 表示の見方



## ● グループ管理されたMDのタイトル表示の切り換え

- MD再生中にディスプレイボタンを押すと次のように表示が切り換わります。  
ディスクタイトルモード → グループタイトルモード → トラックタイトルモード  
 通常モード表示あるいは時計表示  
 押すごとに切り換わる

文字情報が記録されていないMDを再生した場合はLCD表示部に“NO TITLE”と表示されます。  
一度に表示できる文字数は12文字です。文字数が多い場合は自動的に左方向へ文字がスクロールし、先頭から12文字の表示になります。ただし、文字数が12文字以下の時はスクロールしません。

## お願い

グループ機能未搭載機でグループ管理MDの編集（曲の追加、削除など）を行なった場合、グループ機能が正常に動作しなかったり、タイトルが正常に表示されないことがあります。

- その他の操作は通常のグループ管理されていないMD再生と同じになります。

# チェンジャーコントロールの操作のしかた

●別売のCDチェンジャーと接続したときは、本機で操作を行います。



## チェンジャーコントロールのしかた

- “ソース切換えボタン” を押しCDチェンジャーを選択します。チェンジャー内にマガジンが装着されていない場合はLCD表示部に“E J”が表示されます。また、再生中にマガジンをイジェクトするとラジオモードに切り換わります。
- “ディスク選択ボタン” でディスクの選択ができます。“-”側を押すと、今、再生しているディスクの前のディスクを、“+”側を押すと、今、再生しているディスクの次のディスクを選択できます。マガジン内にディスクが一枚しか装着されていない場合はこれらのボタン操作は受け付けません。
- “トラック選択ボタン ▶▶” または ◀◀ を短押しするとそれぞれ「トラック送り／戻し」ができます。  
▶▶ または ◀◀ を押し続けると押している間曲の「早送り／早戻し」状態になります。

## リピートやランダムプレイするには

- CDチェンジャーコントロールモードで“リピートボタン” を押すごとにリピート(RPT)、ディスクリピート(D-RPT)の再生モードが選択できます。また、“ランダムボタン” を押すとランダム(RDM)の再生モードが選択できます。リピート(RPT)は現在再生している曲(トラック)を繰り返し再生します。ディスクリピート(D-RPT)は現在再生しているディスクのみを繰り返し再生します。ランダム(RDM)は装着されている全ディスク内の曲(トラック)をランダムに選出し再生します。ランダムは無作為に曲(トラック)を選択していきますが、同じ曲(トラック)を続けて再生することもあります。

## スキャン選曲するには

» “スキャン(SCAN)ボタン” を押す。

現在再生している曲(トラック)の次の曲(トラック)から、順次「曲(トラック)の最初の10秒間」ずつ再生します。聞きたい曲(トラック)の再生中に再度“スキャン(SCAN)ボタン” を押すと通常の再生状態になります。またスキャンはディスク内のすべての曲(トラック)を一巡するとスキャンは解除し通常再生状態に戻ります。スキャン機能は再生しているディスクのみをスキャンします。ディスク間のスキャンはありません。

## 表示の見方



# ETC車載機器接続時の操作のしかた



リストボタン

- 本機は当社製ETC車載器を接続し車載器情報を表示することができます。対応のETC車載器は、EP-422、EP-423、EP-433です。

ETC車載器接続時には、本機側での操作は利用履歴表示を行なう時のみです。

ETC車載器からの情報は本機側の動作状態に関係なくLCD表示部に割り込んで表示されます。また、ETC音声案内は本機側での再生を一時中断して優先的に出力されます。

ただし、本機がオフ状態では出力されません。

また、利用履歴の情報は本機から音声案内はされません。

- 専用表示の説明 (LCD表示部左側の表示です。)

専用表示	動作説明
	ETC車載器との接続状態が正常な場合、表示する。 イグニッションキーをACCポジションにする度に接続を確認しますので正常に接続されていても、いったん表示が消えてから点灯する場合があります。ETCカードが正常に装着されている場合は点灯します。
	ETCカードに異常が発生した場合には点滅する。 このような場合はカードを、お確かめのうえ再挿入してください。

イグニッションキーをACCポジションにした時にカードの装着状態を確認しカード未挿入時には **ETC** が点滅します。

※ETCシステムとは、無線通信を用いて有料道路の料金所で止まることなく自動的に料金の支払いを行ない、料金所渋滞の緩和やキャッシュレス化、ノンストップ化による利便性の向上などを図る新しいシステムです。

※ETCは財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。

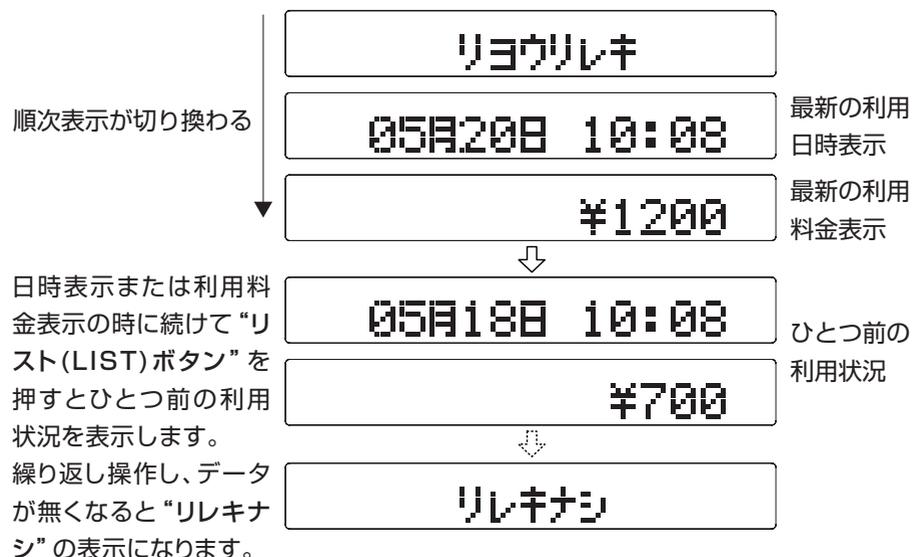
## 履歴表示について

- ETCカードに記録された利用状況を最新の利用状況から、さかのぼって表示ができません。

“リスト(LIST)ボタン”を押すとLCD表示部に以下のように利用履歴が表示されます。

- ※ETCカードが挿入されていない時に操作すると“E15ミソウニュー”、カードが異常な場合“E16イジョウ”が表示されます。

利用履歴の情報は音声案内されません



操作方法

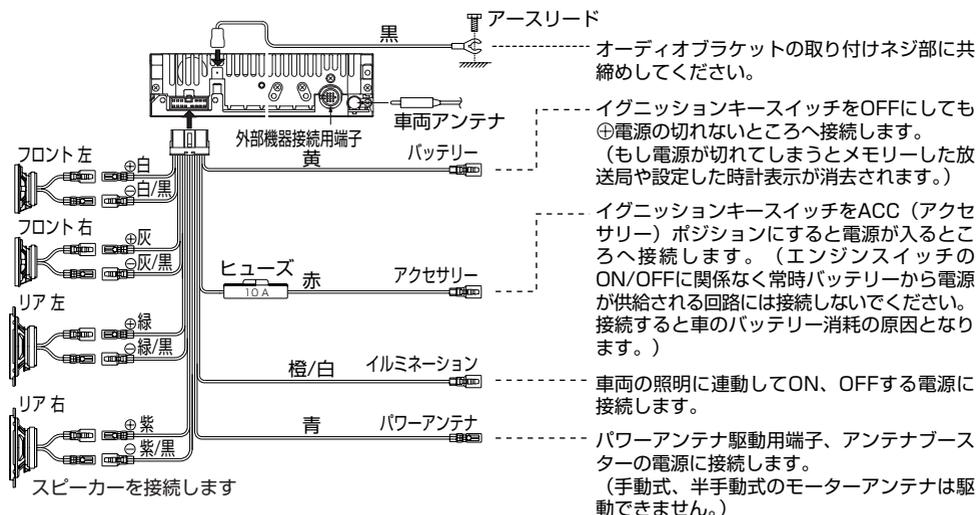
## 接続のしかた

### ⚠警告

- ◆ ショート事故防止のためバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ◆ 左右や前後のスピーカー端子を共通にして接続しない。火災の原因となります。
- ◆ ヒューズを交換するときは必ず指定の容量のものと交換してください。

### ⚠注意

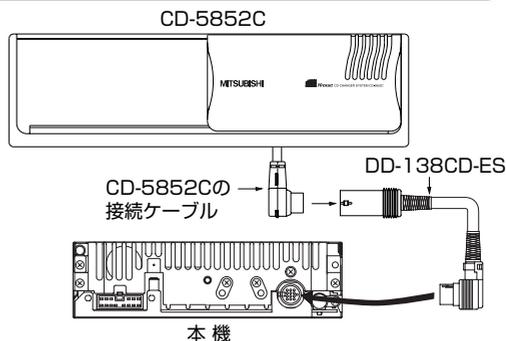
- ◆ 接続時は必ずエンジンを止めキーを抜いた状態で行ってください。
- ◆ 余った線は取付け時、車体へのかみこみを防ぐためビニールテープなどで束ねてください。



ACC+B (アクセサリ) 電源リード線 (赤) と BATT+B (バックアップ) 電源リード線 (黄) は必ず指定の場所に接続し同じところへまとめて接続しないでください。

## システムアップ時の接続例

- ここでは本機に、CDチェンジャー (CD-5852C) を接続する場合を示しています。電源関係の接続はそれぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

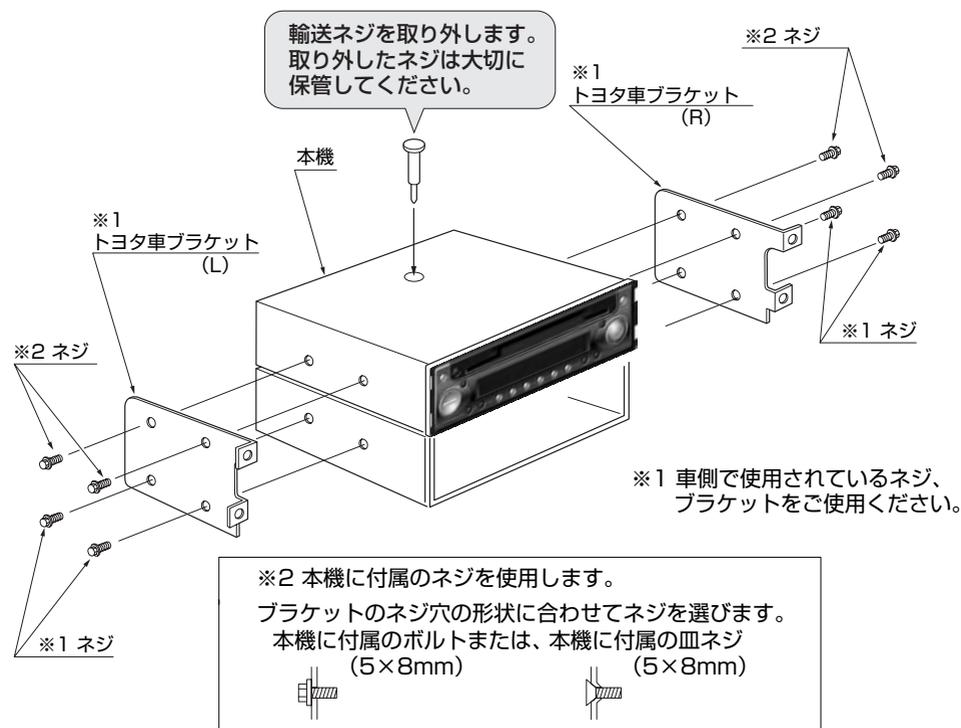


## 取り付けかた

- ご自分で取り付けが困難な場合は、販売店またはカーディーラーにご相談ください。

### トヨタ車に取り付ける場合 (DINサイズ採用車)

1. 車側のラジオ、小物入れなどを取り外してください。取り外すとラジオ、小物入れなどを止めているブラケットがあります。そのブラケットを使用して本機を取り付けます。(本機は、上段・下段どちらにも取り付けできます。)
  2. 本機を車側に取り付けます。
- 年式、車種、グレードにより、専用取り付けキット (別売) が必要な場合がありますので別途販売店にご相談ください。



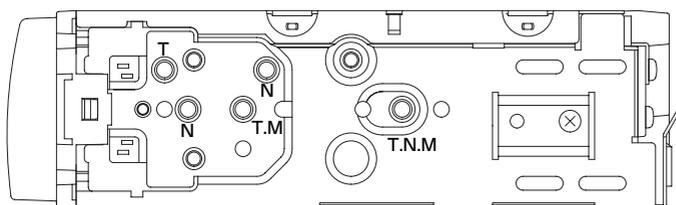
- 修理をご依頼される場合、輸送中の破損防止のため必ず輸送ネジを取り付けてください。

## ● 日産車、ホンダ車、三菱車に取り付ける場合 (DINサイズ採用車)

●上記メーカーのDINサイズ採用車には、メーカー別の標準取付キット (別売) が準備されておりますので別途販売店にご相談ください。なお、年式、車種、グレードにより専用キット (別売) が必要な場合もありますので販売店にご相談のうえ、お買い求めください。

●DINサイズ採用車とは、オーディオスペースに通称セット幅180mm高さ50mmサイズが搭載できる車です。

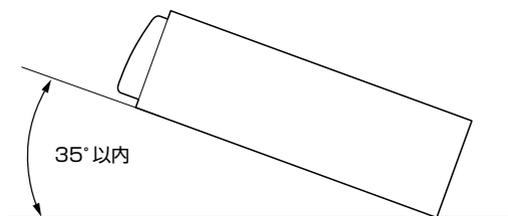
## ● ブラケット取り付けネジ穴例



記号	車メーカー名
T	トヨタ
N	日産
M	三菱

## ● 取付角度について

●本機は水平~35°の範囲内で取り付けてください。(下図参照) 取付角度が35°以上になると、音飛びの原因となりますのであらかじめ取り付けになる車両の取付角度を確認してください。



## 故障かな?と思ったら

●下記に示します処理を行っても症状が直らないときは、配線の間違いか故障の可能性が  
あります。

お買い上げ店またはサービス店名簿記載のお店にご相談ください。

なお、ETC機能関係の不具合に関しては「ETC車載機器の取扱説明書」をご覧ください。

	症 状	原 因	処 理
共通部	電源が入らない。 動作しない。	接続コードが外れている。	各リード線のギボン端子の接続を確認してください。
	特定のチャンネルの音が出ない。	・スピーカー接続が外れている。 ・フェーダーやバランスが偏った調整になっている。	・スピーカーリードの接続を確認してください。 ・設定を確認してください。

	症 状	原 因	処 理
MD/CD/チェンジャー部	ディスクが入らない。	・すでにMD(CD)が入っている。 ・ディスクが入っていないのにローディング状態になっている。	・MDとCDは同時に装着できません。すでに入っているディスクを取り出してください。 ・一度イジェクトボタンを押してください。
	音が飛ぶ。	・取付け角度が35度以上になっている。 ・CDチェンジャーの場合取付け時の設定が異なっている。	・取付け角度を確認ください。 ・CDチェンジャーの縦置き、横置きを設定を確認してください。
	同じ箇所音が飛ぶ。	ディスクに傷、汚れなどがついている。	ディスクをお確かめください。
	ディスクを入れても音が出ない。	ディスクの傷、汚れなどのためデータが読み込めない。	ディスクをお確かめください。 なお、CD-R/RWをご使用の場合はディスクの特性により再生できない場合があります。

	症 状	原 因	処 理
ラジオ部	受信できない。	アンテナが伸びていない。	手動式の場合はアンテナを伸ばしてください。パワーアンテナの場合はアンテナ電源接続を確認してください。
	シーク選局で放送局が受信できない。	放送局の電波が弱くストップしない。	マニュアルで選局してください。

## ● MD/CDモード時のエラーメッセージ

表示	モード	内容
ERR 01	共通	フォーカスエラー(TOC情報読取不可)
ERR 02	共通	傷、汚れなどによる読み取り不可 CD-ROMやDATA-MDを挿入した。
ERR 03	共通	ローディング、イジェクト異常 ピックアップ位置異常
ERR HOT	共通	高温保護が動作している。 (温度がさがるまでお待ちください。)
NO DISC	共通	・本機にディスクが装着されていない。 ・CDチェンジャーのマガジン内にディスク がはいっていない。
E	共通	電源系異常、内部通信異常、その他異常

- CD、MDのキズ、汚れの程度によりすぐにエラーメッセージが出ない場合があります。  
ディスクを挿入してもなかなか音が出ない時はCD、MDのキズ、汚れが原因と思われるので他のディスクと交換してください。
- 内蔵MD/CD部ではCD-ROMを挿入した、CDを裏向けに入れた、何も記録されていないMDを挿入したなどの場合はエラーを検出すると自動的にイジェクトされます。

## ■ 主な仕様

## 〈MD/CD部〉

D A コ ン バ ー タ ー	1bit方式
周 波 数 特 性	5 ~ 20,000Hz
高 調 波 歪 率	0.008% (1kHz 0dB)
S N 比	90dB
ワ ウ ・ フ ラ ッ タ ー	測定限界以下

## 〈ラジオ部〉

受 信 周 波 数 範 囲	FM 76.0 ~ 90.0MHz
	AM 522 ~ 1,629kHz
実 用 感 度	FM 10dBf 0.9 $\mu$ V/75 $\Omega$
	AM 28dB $\mu$
S N 比	FM 70dB IHF-A
	AM 50dB
選 択 度	FM 70dB
	AM 70dB
ステレオセパレーション	FM 40dB (1kHz)

## 〈オーディオ部〉

最 大 出 力	45W $\times$ 4
ト ーン コ ン ト ロ ー ル	低音 $\pm$ 12dB (100Hz)
	高音 $\pm$ 12dB (10kHz)

## 〈電源部〉

電 源 電 圧	DC14.4V (10.8V ~ 15.6V 使用可)
最 大 消 費 電 流	10A

## 〈寸法・質量〉

外 形 寸 法	178 (W) $\times$ 50 (H) $\times$ 156 (D) mm
質 量	1.5kg

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。  
※本機はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。